

# BOOK REVIEW

スポーツ医学の最新知識を平易にレビューした本

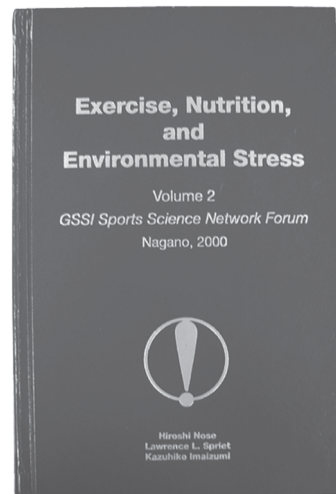
## Exercise, Nutrition, and Environmental Stress

Volume 2, GSSI Sports Science Network Forum, Nagano, 2000  
Edited by Hiroshi Nose, Lawrence L. Spriet, Kazuhiko Imaizumi.  
Cooper Publishing Group, LLC, ISBN: 1-884125-81-6

三木 健寿 (奈良女子大学生生活環境学部生活健康学)

本書「Exercise, Nutrition, and Environmental Stress」は、2000年10月11～13日に長野県穂高で開催されたGSSI Sports Science Network Forumのシンポジウムをもとに作られた本である。このシンポジウムは信州大学スポーツ医科学の能勢教授を中心に企画開催されたものである。1999年に軽井沢で、2001年に大町で同様のシンポジウムが開催されており、本書はシリーズ3巻の第2巻である。シンポジウムはすべて招待講演であり、海外から3演題、国内から9演題の発表で構成されている。総参加者は110名である。本書は、一般的な学会のproceedingsではない。シンポジウム企画の段階で出版を意識した人選がなされており、最新のスポーツ医学のトピックスを系統的にまとめた本である。

275ページからなる本書は、コンパクトであるが、スポーツ医学の基礎生理からトレーニング、環境適応までを網羅している。基礎的な側面は、1) 中枢性のストレス応答とトレーニング、2) 運動時の筋血流量調節、3) 体液量調節、4) 組織への酸素輸送、5) 筋肉でのエネルギー産生、6) 筋肥大、さらにトレーニングと環境適応という側面では、7) 循環ドリフト、8) 微小重力と筋萎縮、9) 暑熱適応、10) 寒冷適応、11) アディポサイトの細胞レベルでの適応、12) 子供と老人の熱中症に関するものである。その内容は、シンポジウムの講演を土台にして原稿を再度書き下ろし、厳



正な査読の後に、印刷されたものである。83枚の図が各章にバランスよく配置されており、最新の文献が引用されているのありがたい。さらに、各章の末にシンポジウムの質疑応答が簡潔にまとめられており、発表内容の問題点が多方面から討論されていて興味深い。

以上、本書はスポーツ医学の最新の動向がコンパクトにレビューされたものである。大学院での輪読の教科書として、あるいは最新のスポーツ医学の情報を手短に把握したいとき、一般の運動生理学の教科書では物足りないと感じている諸氏にお勧めしたい。